

進む低年齢化 15歳で7割、12歳でも2割がスマホを所有

～10人に8人は親子間でスマホの使い方のルールを決めていた～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果1 : 子どものケータイ所有状況

調査結果2 : SNSの利用状況

調査結果3 : 親子間で決めているスマホ利用時のルール

■ 調査結果

2015年に我々が行った調査では、15歳の約7割がスマホを保有していた。また、13歳でも3割がスマホ所有している。(図1)

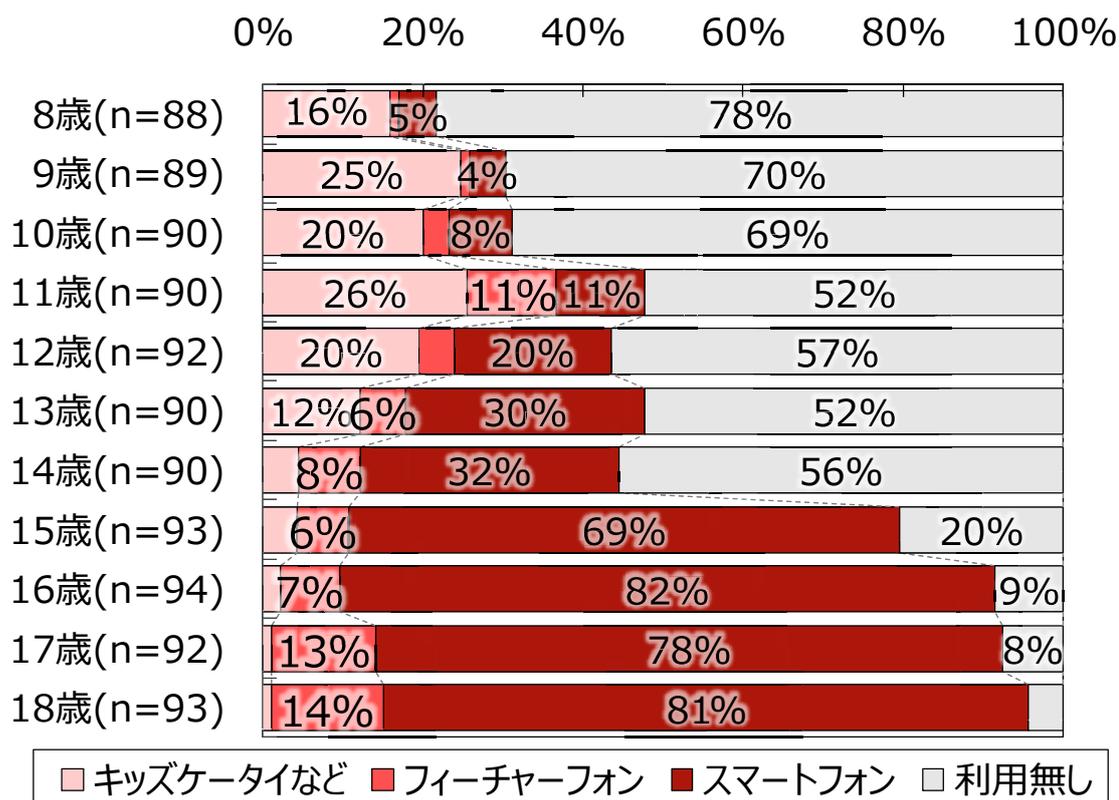


図1：子どものケータイ所有状況

スマホの普及が進むのに合わせ、SNSも急速に利用が増えている。2017年3月現在、10代後半でLINEは約8割、Twitterは約4割利用している。また、Instagramも10代後半女性で4割が利用している。(図2)



図2：SNSの利用状況

一方、親の立場からみると、スマホの使いすぎは頭痛の種ではないだろうか。そこで、2017年10月にスマホを利用している「小学生から高校生」に家庭内でのルールを聞いた。その結果、10人に8人は親子間で何だかのルールを決めていた。内容は「食事時の利用をしない」がいつの時点でも最も高い。小学生では、「居間の利用」「学校に持ち込まない」と続き、利用する空間の制限が上位を占める。中学生になると、「学校に持ち込まない」「有料コンテンツは親の同意を得る」「マナーを守る」となり、利用空間の制限と合わせ、使い方のルールが上位となった。

	小学生 (n=135)		中学生 (n=142)		高校生 (n=274)
食事中に利用しない	54%	食事中に利用しない	57%	食事中に利用しない	39%
スマホ利用は居間でのみ	43%	スマホを学校に持ち込まない	55%	有料コンテンツを購入する場合は必ず親の同意を得る	34%
スマホを学校に持ち込まない	41%	有料コンテンツを購入する場合は必ず親の同意を得る	54%	マナーを守る(ながらスマホをしない等)	34%
有料コンテンツを購入する場合は必ず親の同意を得る	40%	マナーを守る(ながらスマホをしない等)	53%	困った際は親に相談する	28%
困った際は親に相談する	36%	困った際は親に相談する	43%	家族のコミュニケーションを大切に	28%
特にな	7%	特にな	9%	特にな	26%

図3：親子間で決めているスマホ利用時のルール（上位5つ）

既にスマホを持たせている、これからスマホを持たせようとしている、そう考えている親も多いのではないかと。その際、親子でスマホの使い方について、この調査結果を参考にもう一度じっくり話し合ってみてはどうだろうか。その話し合いの中で、メインのコミュニケーションツールがメールからLINEに移行しつつあることから、親子LINEをすることをお勧めしたい。スマホの使い方（ルール）と一緒に親子間のコミュニケーションを活性化するのはいかかでしょうか。

■調査概要

調査結果1 (図1)

調査時期 : 2015年9月 調査対象 : 8~18歳男女とその親

標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢で割付 1001 サンプル回収

調査結果2 (図2)

調査時期 : 2017年1月 調査対象 : 全国、15~79歳男女

標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・居住エリアで割付 3000 サンプル回収

調査結果3 (図3)

調査時期 : 2017年11月 調査対象 : 小中高校生の子がいる親

標本抽出法 : 551 サンプル回収

■参考情報

当結果を用いまして、渋谷教育学園渋谷中学高等学校様にて、保護者向け講演会を実施しました。講演会の模様は <http://www.moba-ken.jp/staff/index.html> をご覧ください。

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 03-5156-1087 (直通) msri-inq-ml@nttdocomo.com